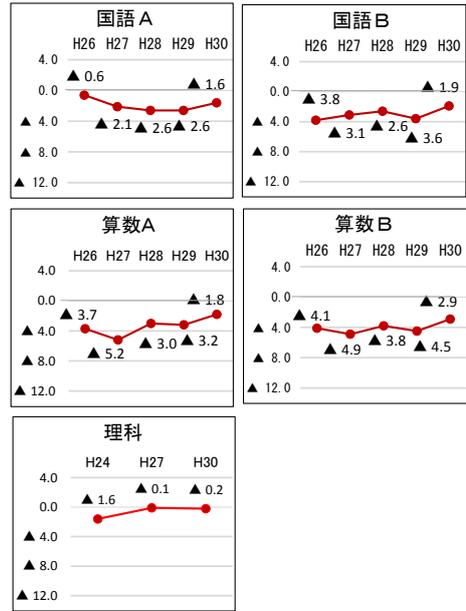


■小学校の状況(学校数:90校、児童数:2780人)

【平均正答率】

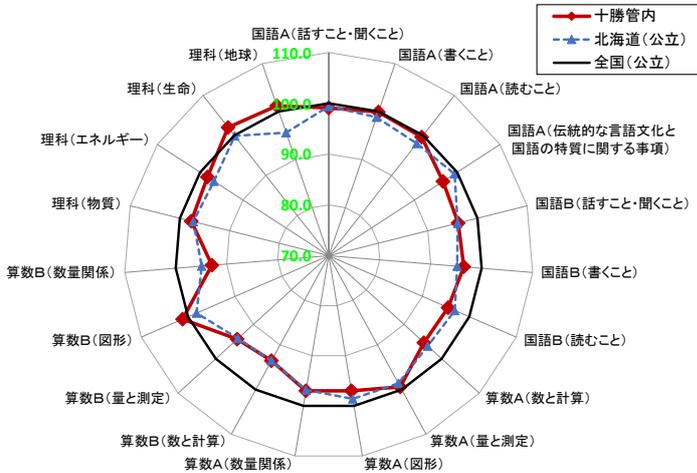
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
十勝	69[69.1]	53[52.8]	62[61.7]	49[48.6]	60[60.1]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

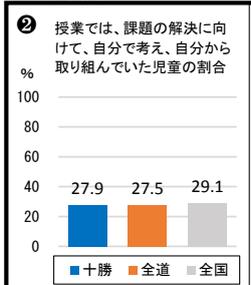


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

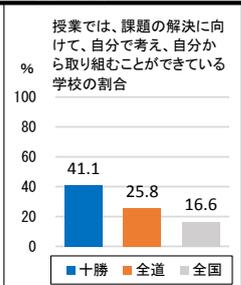
【質問紙の状況】

指導方法

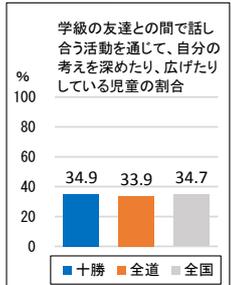
*児童質問紙



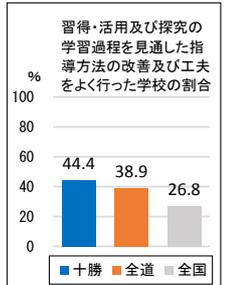
*学校質問紙



*児童質問紙

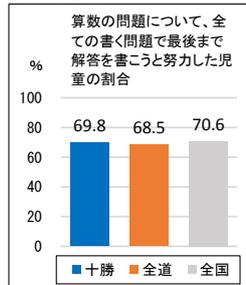


*学校質問紙



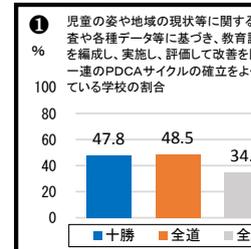
学習意欲

*児童質問紙

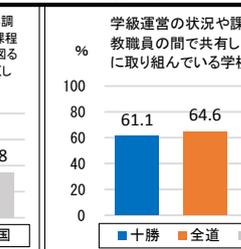


カリキュラム・マネジメント

*学校質問紙

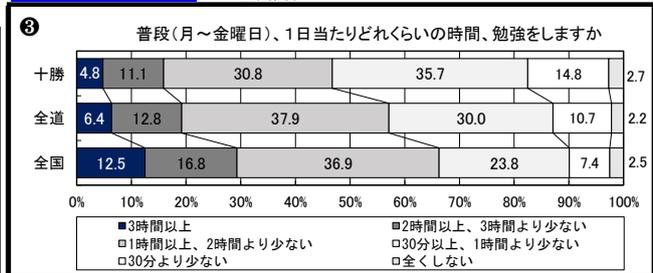


*学校質問紙



学習習慣

*児童質問紙



【分析及び改善の方向性】

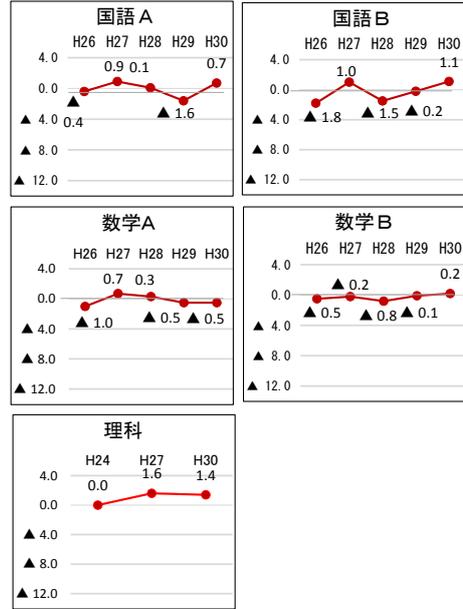
教科	○ 全国と比較し、算数Bの「図形」、理科の「生命」「地球」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語A・B、算数Aの全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「話すこと・聞くこと」、算数Bの「数量関係」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	① 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は47.8%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は61.1%であり、いずれも全国を上回っているが、学力向上の取組をさらに充実させるため、PDCAサイクルの各段階における取組を視覚化するとともに、全教職員で課題を共有し、組織的な取組の検証・改善を進める必要がある。 ② 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は27.9%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は41.1%であり、いずれも全国を上回っているが、13.2ポイントの差があることから、児童の側に立った学習課題を示し、何が分かるようになればよいのか、何ができるようにすればよいのか、どのような手順や方法で学習するのかなどの見通しを立てる場面や、学習したこと、何が分かり、何ができるようになったのかを児童自身が自分の言葉で振り返ったり、学習内容の定着状況を確認する問題に取り組んだりする場面などを設定する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は46.7%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

■ 中学校の状況(学校数:47校、生徒数:2874人)

【平均正答率】

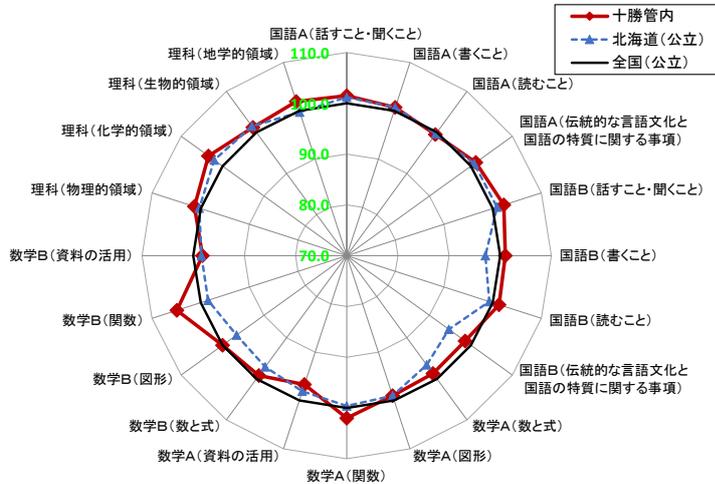
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
十勝	77[76.8]	62[62.3]	66[65.6]	47[47.1]	68[67.5]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

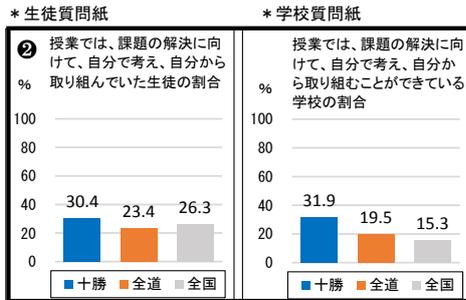
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



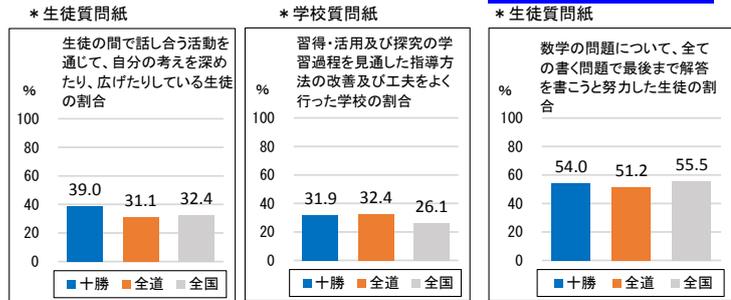
※「管内の平均正答率ー全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

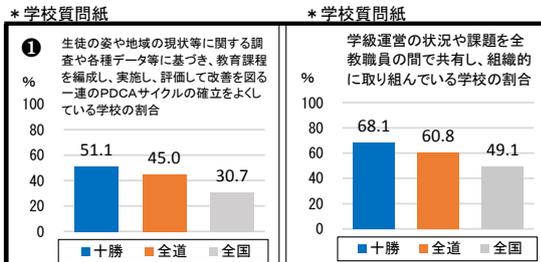
指導方法



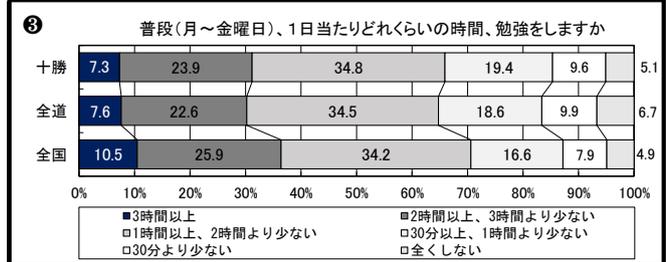
学習意欲



カリキュラム・マネジメント



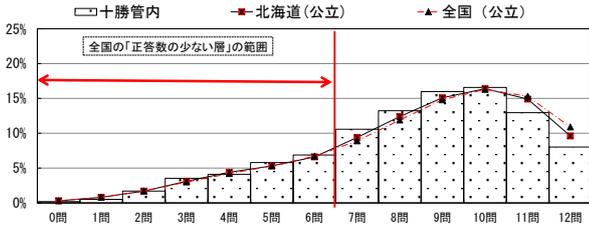
学習習慣



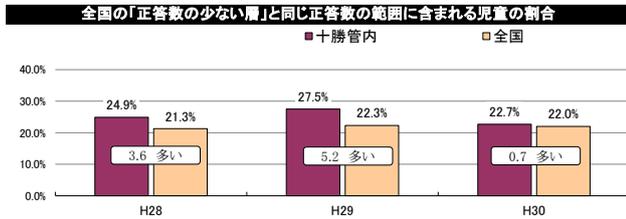
【分析及び改善の方向性】

教科	内容
国語	○ 全国と比較し、数学Bの「図形」と同じ、国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、数学A・Bの「関数」、理科の全ての領域で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Aの「資料の活用」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	① 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は51.1%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は68.1%であり、いずれも全国を上回っているが、1.5ポイントの差があることから、生徒の側に立った学習課題を示し、何が分かるようになるか、何が出来るようになるか、どのような手順や方法で学習するのかなどの見通しを立てる場面や、学習したこと、何が分かり、何が出来るようになったのかを生徒自身が自分の言葉で振り返ったり、学習内容の定着状況を確認する問題に取り組んだりする場面などを設定する必要がある。 ② 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は30.4%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていない学校の割合は31.9%であり、いずれも全国を上回っているが、1.5ポイントの差があることから、生徒の側に立った学習課題を示し、何が分かるようになるか、何が出来るようになるか、どのような手順や方法で学習するのかなどの見通しを立てる場面や、学習したこと、何が分かり、何が出来るようになったのかを生徒自身が自分の言葉で振り返ったり、学習内容の定着状況を確認する問題に取り組んだりする場面などを設定する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は66.0%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

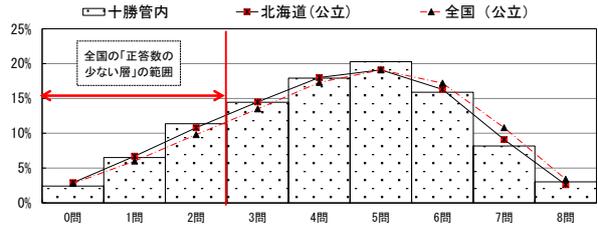
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,780	8.3 / 12	69.1	9.0	2.6
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



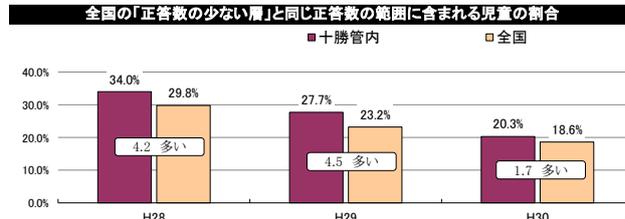
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



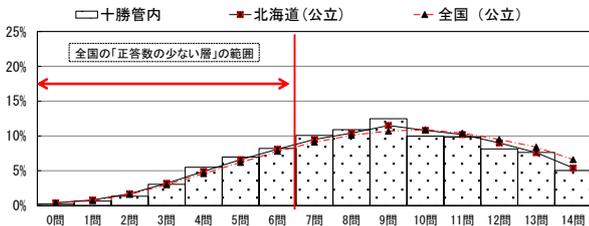
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,781	4.2 / 8	52.8	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



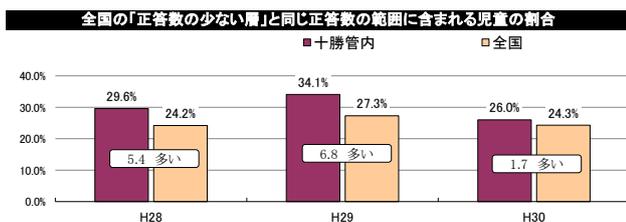
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



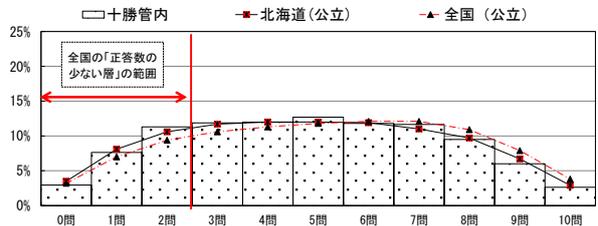
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,780	8.6 / 14	61.7	9.0	3.1
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



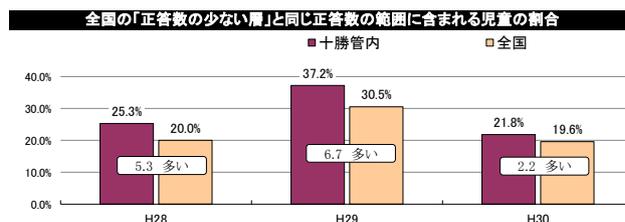
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,780	4.9 / 10	48.6	5.0	2.6
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



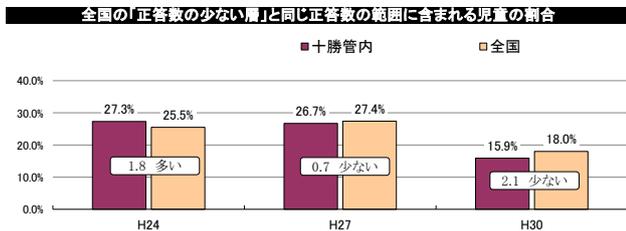
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



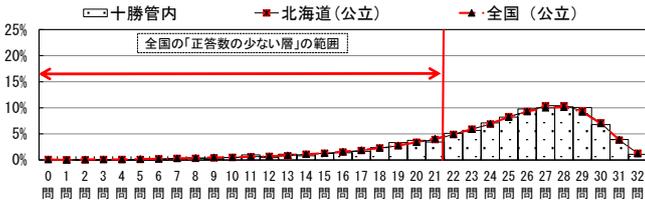
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,783	9.6 / 16	60.1	10.0	3.0
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



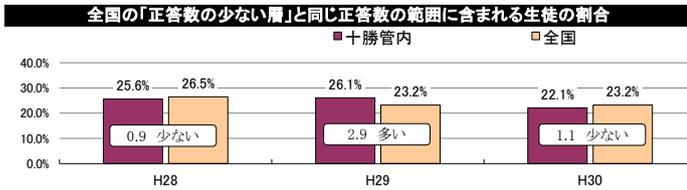
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



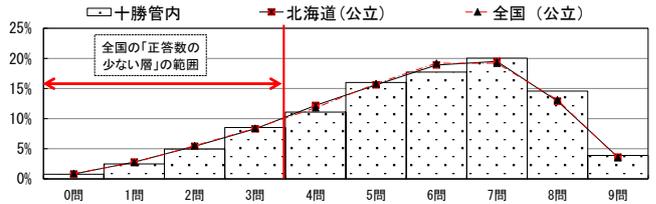
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,874	24.6 / 32	76.8	26.0	4.9
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



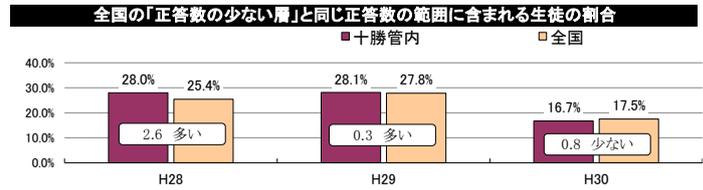
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



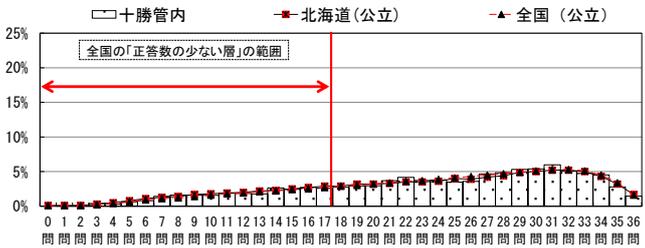
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,876	5.6 / 9	62.3	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



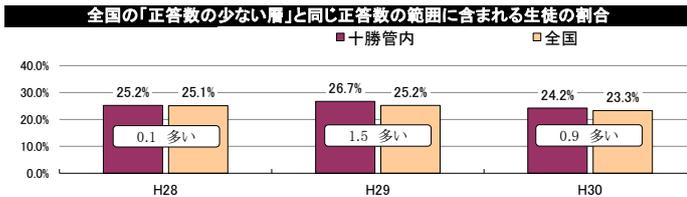
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



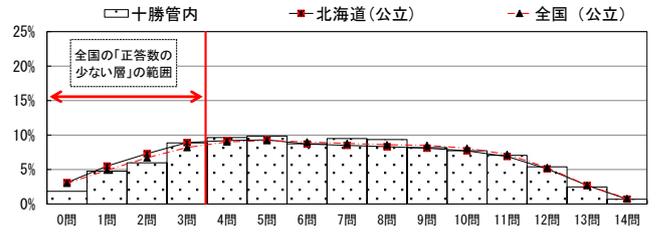
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,878	23.6 / 36	65.6	25.0	8.1
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



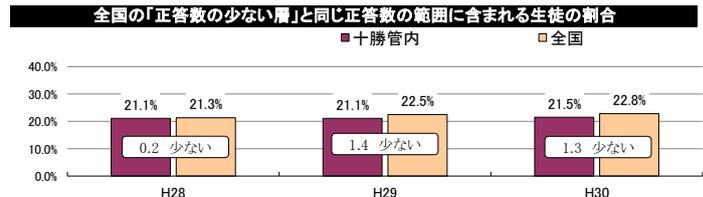
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



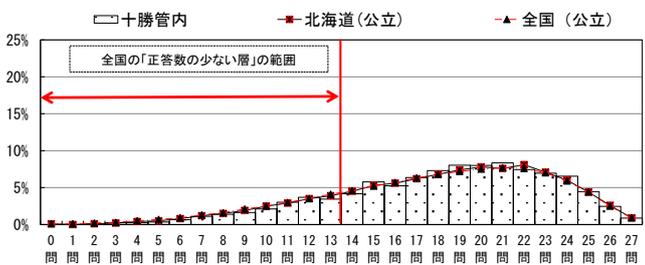
中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,876	6.6 / 14	47.1	7.0	3.4
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



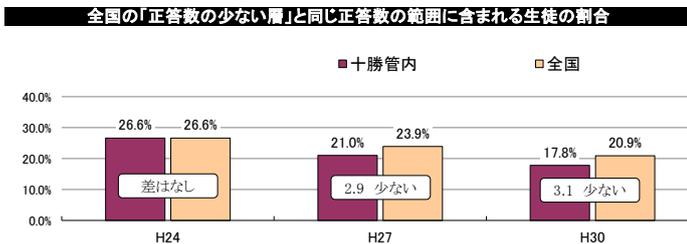
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,874	18.2 / 27	67.5	19.0	4.9
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A	
十勝管内	全国
33.8%	29.4%
全国との差 4.4多い	
H30中3 : 1.1少ない	

小学校国語B	
十勝管内	全国
30.9%	26.5%
全国との差 4.4多い	
H30中3 : 0.8少ない	

小学校算数A	
十勝管内	全国
29.7%	21.7%
全国との差 8.0多い	
H30中3 : 0.9多い	

小学校算数B	
十勝管内	全国
31.5%	25.2%
全国との差 6.3多い	
H30中3 : 1.3少ない	

小学校理科	
十勝管内	全国
26.7%	27.4%
全国との差 0.7少ない	
H30中3 : 3.1少ない	